

しばた市議会 だより



第140号

発行/新発田市議会
編集/議会運営委員会

特集

使いやすい公共交通実現を！



CONTENTS

2~5. 特集/使いやすい公共交通実現を！

6~7. 主な議案・議決結果

8. 新役員紹介

9~13. 一般質問 Q&A

14. 研修報告

15. お知らせ

16. SHIBATA TOPICS

特集

使いやすい 公共交通実現を！

調査対象

新潟交通バス 川東コミュニティバス 市内循環バス まつうら号

有効回答者比率

小学生 31% 中学生 21% 20～34歳 3%
34歳～49歳 3% 50歳以上 42%



広報委員がみてきました！ 利用実態は？市民の声は？

主な行先

ほぼ生活圏域への利用が中心であり、通学、通院、買い物での利用が多い。また、障がい者の方の施設への移動手段として利用されている方も多い

利用者の声

- ・100円で乗れてありがたい（循環バス・80代）
- ・通学時の車内は楽しく過ごせる（川東バス・小学生）
- ・土日の運行を行ってほしい（まつうら号・小中学生）

要望、改善してほしい点

（回答の多かった順）

- ①1日の本数を多くしてほしい
- ②土日の早い時間帯のバスの運行を望む
- ③乗換え箇所が駅中心で、日中乗換え可能な便が少ない
- ④循環バスの通らない地域の路線化を望む（豊町・東新町など）



取材を通じて見えてきたこと

市内の公共交通利用者の多くは学生と高齢者、また障がいがある方などが大半を占め、乗車率は高くはなく、公共福祉サービスとしての側面が強い。

今後、増便を含むダイヤの見直しと土日の運行の在り方が課題である。今後全地域にスクールバスが整備されることから、利用者層の拡大のため、市外の観光客が市街地周遊のために利用できる活用方法の検討や、ICカードや電子マネー決済などの利便性向上、隣接市町村の公共交通機関との接続による利用者集客など今後の公共交通機関としての更なる施策の展開が望まれる。また、福祉施設や医療機関との一体運用も検討の価値があると考えられる。

新発田市の公共交通網

各地区の現状と今後の課題

2021年4月時点の現状と課題を地図にまとめました。
 中心市街地は【あやめバス】の利便性を更に高め、周辺地域は幹線道路を中心に利用の多い路線は【バス運行】を行い、その他利用の少ない地域は【ハイブリッド運行】によるデマンド交通(予約制運行)で全市をカバーします。



本庁地区



現状
 ①あやめバス【市街地循環】+各種交通路線
課題
 ルート・ダイヤ・JR駅連携の更なる最適化

紫雲寺地区



現状
 ④藤塚浜金竜橋線
計画
 R6年～デマンド交通

加治川地区



現状
 ⑯JR羽越本線
計画
 R5年～デマンド交通

佐々木地区



現状
 ①木崎線/⑦飯島線
計画
 R7年～デマンド交通

菅谷・加治地区



現状
 ⑨新発田市コミュニティバス
計画
 R3年～バス+デマンド交通

川東地区



現状
 ⑩川東コミュニティバス
計画
 R5年～バス+デマンド交通

豊浦地区



現状
 ⑧乗廻月岡線
計画
 R3年～デマンド交通

松浦地区



現状
 ⑦まつうら号 デマンド交通
課題
 ルート・ダイヤの最適化

五十公野・米倉・赤谷地区

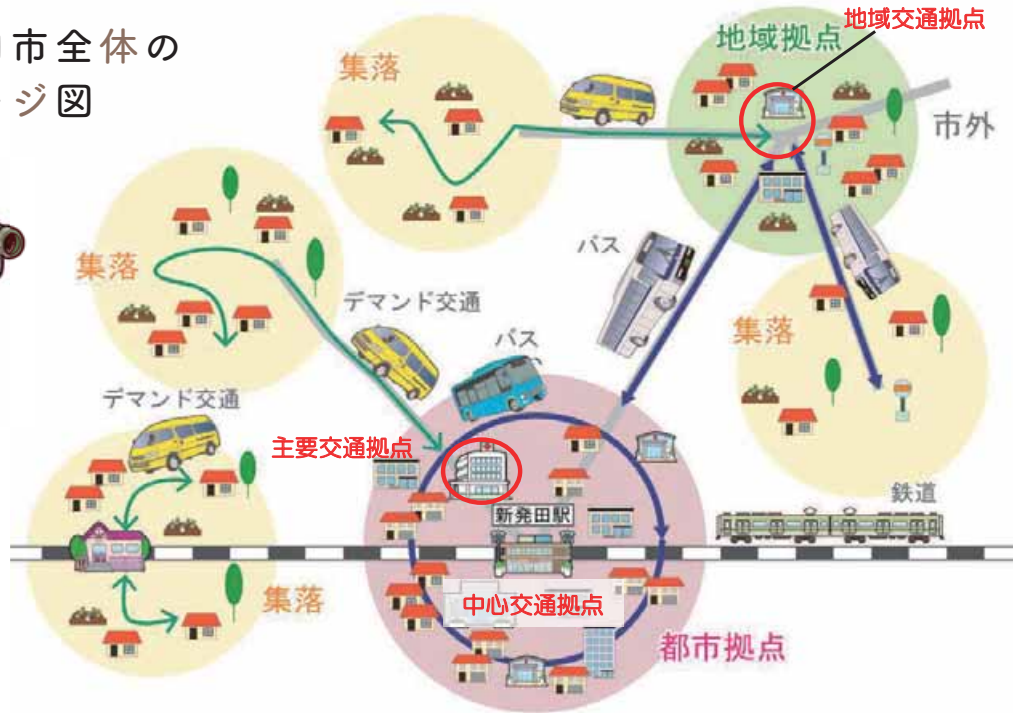


現状
 ⑤⑥赤谷六軒町線
計画
 R5年～デマンド交通

- 路線バス (営業路線) — 路線バス (廃止代替路線)
- 新発田コミュニティバス — 川東コミュニティバス
- あやめバス (市街地循環) — 月岡温泉シャトルバス
- 高速バス — 聖籠町エコミニバス はまなす号
- 三川駅～赤谷コミュニティワゴン

- 聖籠町との連携** ②はまなす号 [聖籠町]
- 胎内市との連携** ⑯JR羽越本線・のれんす号 [胎内市]
- 阿賀町との連携** ⑱コミュニティワゴン (赤谷三川) [阿賀町]

新発田市全体の イメージ図



住民が自由に移動する、移動(交通)権の確保が基本的人権として世界の標準となっています。

超高齢化と人口減少が同時に進む新発田市では、交通事業者の減便や廃止等が相次ぎ、鉄道駅を「交通結節点」として、中心市街地は「高頻度バス運行」を、周辺地域は利用者数により「バス運行」と「デマンド運行」を使い分けた効率的な運行の構築を目指していきます。

堅調な利用がある市街地に対して、周辺地域では、冬期や悪天候時に高校生などの登下校時間などに乗車が集中する一方、日中はガラガラの状態が多く、「空気バス」などと揶揄される状態ですが、日中も通院や買い物などで一定数の利用があり、

限られた予算の中でライフライン維持と利便性の確保を目指すのは大変難しい問題です。

また、路線バスやタクシー事業者の営業権や、道路運送法など国の規制も複雑に絡んでおり、地域や小中学校の通学支援などの調整は、細かいパズルのピースを一つずつ組み上げていくような複雑な調整が必要です。

市議会では今後も継続して、交通空白域の早期解消をはじめ、示された計画がしっかりと進むよう注視すると共に、市民の皆様からご意見を伺いながら、利便性の更なる向上を市に求めていく予定です。

新発田版デマンド方式とは 小型車両によるハイブリッド運行のことで



周辺地域は集落が点在しており、一筆書きでルート回ると所要時間が長くなってしまいます。

しかし、あまり乗車のない「全集落を隈無く回る」のは非効率なことから「幹線ルート」は、路線バスのような「定路線型運行」を行い、一定数以上の利用が見込まれない停留所は、予約がある場合のみ向かう方式としました。「まつうら号」では

1時間前までの電話連絡で迂回してもらえます)

この方式は、定路線ルート上は「路線バスのような定時運行の安心感」があり、小さな集落の方も近くで乗降できるメリットがあります。(自宅～停留所間が300m以内になるよう考えています)

稀に迂回が多くなると時間が遅れることもありますが、利便性とのベストバランスかと思えます。

新発田市と市議会の公共交通に関する動き

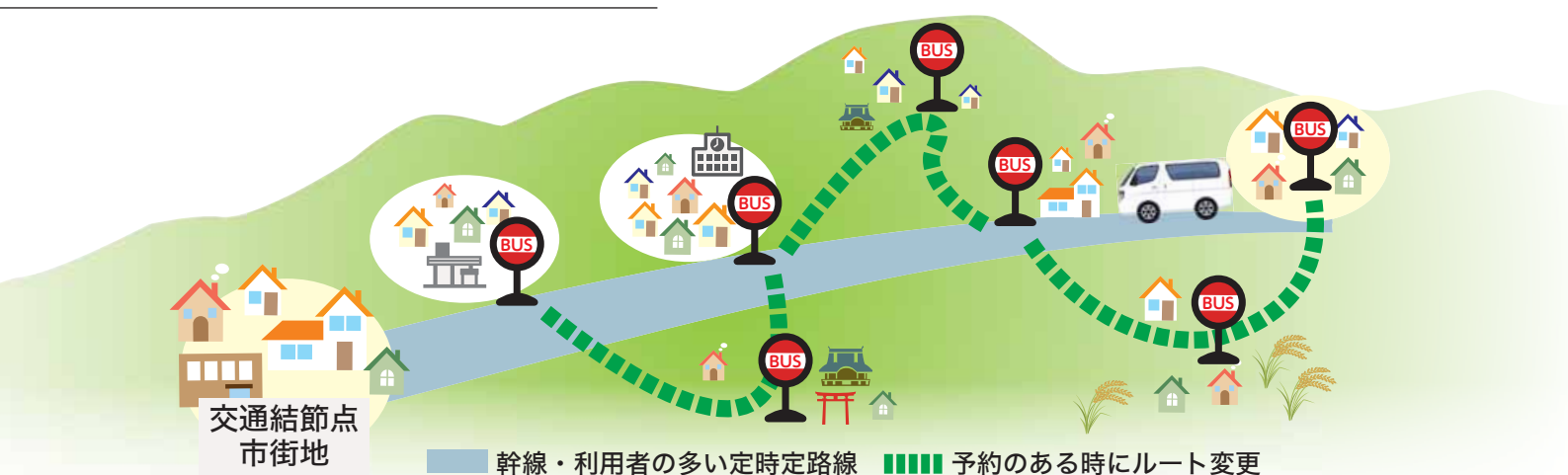
市議会では全議員による「政策勉強会」や、常任委員会での審議に加え、視察、調査、提言を切れ目なく行ってきました。

さらに市長への代表質問や一般質問は最近5年間で30回にも及び、従来市が示してきた「学校統合に合わせた整備」では市民ニーズとミスマッチがあり、急激な高齢化で免許返納が進む中、公共交通

整備が市政の最重要課題であると全議員が認識を共有してきました。

令和元年からは、決算及び予算特別委員会で「共通テーマ」を設け活発な討議が行われ、それに呼応するように、今年1月には全員協議会にて「新発田版デマンド方式による小型車輛ハイブリッド運行」の全市への展開方針が市長から示されました。

	行政側のトピック	議会側のトピック
2006年 H18	<p>菅谷・加治地区【新発田市コミュニティバス】運行開始 地元NPO法人七葉による「自家用有償旅客運送」方式 菅谷/七葉小・中学校の通学支援も路線混乗でカバー</p> <p>■ 市街地循環バスの実証運行開始</p>	
2012年 H24	<p>【市街地循環バス】愛称募集で「あやめバス」とし運行開始</p>	
2014年 H26	<p>【川東コミュニティバス】運行開始 川東小・中学校の通学支援も路線混乗でカバー</p>	
2017年 H29	<p>■ 中条線/佐々木稲荷岡循環線/藤塚浜線/天王・松浦線 路線廃止</p> <p>■ 乗廻・松浦線 路線増便/金竜橋線 路線運行開始</p> <p>あやめバス利用者100万人達成</p>	
2018年 H30	<p>■ 乗廻・松浦線/東赤谷線 路線廃止</p> <p>■ 川東コミュニティバスの下高関地区延伸</p> <p>【松浦地区デマンド乗合タクシー】実証運行開始</p> <p>■ 乗廻・月岡線/赤谷六軒町線 路線運行開始</p>	<p>■ 議員政策勉強会「公共交通の基礎知識」開催</p>
2019年 H31/R1	<p>■ 飯島線 路線減便</p> <p>■ 新谷線 路線廃止</p>	<p>■ 決算特別委員会 共通テーマとして集中審議</p> <p>■ 総務常任委員会 群馬県桐生市へ行政視察</p>
2020年 R2	<p>■ 次第浜線 路線廃止</p> <p>■ 川東コミュニティバスの長峰地区延伸</p> <p>■ 木崎線 路線減便</p>	<p>行政報告にて今後の方向性提示を1年延期</p> <p>■ 予算特別委員会 共通テーマとして集中審議</p> <p>■ 決算特別委員会 共通テーマとして集中審議</p>
2021年 R3	<p>■ 新発田市コミュニティバス見直し 菅谷/七葉小学校の統合に伴うダイヤ見直し、通学専用運行を追加</p> <p>【松浦地区デマンド乗合タクシー】新発田版デマンド方式へ移行</p>	<p>全員協議会にて今後の方向性提示</p>



主なものをご報告します。

6月定例会

ビニールハウス等の倒壊・破損の被害に対して、助成します。

- 強い農林水産業づくり支援事業

<経済建設委員会での質疑>

Q 事業対象の条件は。

A 第1条件は事業の継続、再建です。加えて強度を高める、規模の拡大などが必要です。



保健センターの老朽化した空調を修繕します。

- 保健センター管理運営事業

<社会文教委員会での質疑>

Q 改修の実施時期は。

A 8月に行います。今後の64歳以下、また来年度以降も集団接種会場としての使用を見えています。

Q 接種への影響は。

A ありません。



生理用品の無償配布を本格的に実施します。

- 生理用品配布事業

<社会文教委員会での質疑>

Q 配布の方法は。

A 市社会福祉課、社会福祉協議会で配布を予定。配布回数に制限を設けず、まずは配布して必要世帯の状況を知り、生活困窮者の把握や支援・対応を考えます。



新しいコミバス事業では原則として各集落に1つ、停留所を設置します。

- コミュニティバス運行事業

<総務委員会での質疑>

Q 停留所の設置方法は。

A 公会堂や目印になる建物など、地域の実情に合わせて道でない場所でも設置を検討します。利用ガイドや時刻表なども準備します。



選挙管理委員会事務局専任の職員配置をやめ、総務課職員が兼務します。

- 新発田市職員定数条例の改正

<総務委員会での質疑>

Q 兼務による影響は。

A 令和3年4月から兼務により選挙事務に触れる職員が増え、知識・経験が蓄積されます。総務課としてもマンパワーが増えて繁忙期に活用できます。



道の駅加治川リニューアルのため、必要事項や管理人を決めます。

- 新発田市道の駅加治川設置及び管理に関する条例制定
- 新発田市道の駅加治川の施設に係る指定管理者の指定

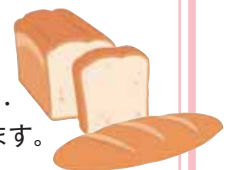
<経済建設委員会での質疑>

Q 管理者と改修後の概要は。

A 管理者は三福運輸、パン工房・イートインスペースを併設します。

Q パン工房の内容は。

A 販売スペース・イートインスペース、パンやピザを生地から製造できる厨房機器類を設置します。



正副議長が選出されました

5月21日の臨時会では、新たな議会の議長、副議長を決めるための選挙が行われました。

投票前には申し出があった議長候補、副議長候補それぞれ1人が、所信を表明しました。

投票の結果、若月学議員が議長に、中村功議員が副議長に選出されました。



議長選挙投票結果

若月 学……………18票
 入倉 直作……………4票
 無 効……………3票

副議長選挙投票結果

中村 功……………24票
 石山 洋子……………1票

議長挨拶



第36代議長
若月 学

市議会25人の力をもって、市民の負託に応え、市民生活の向上、市政の進展及び自治の発展に寄与していくために、今後もさらなる議会改革に努めてまいります。また、市民の意見や要望を真剣に受け止めるとともに、議員間の自由な討議をより深く、的確な提言、政策立案を行うことにより、市政に市民の声を反映させていきます。このことにより、市民に信頼される、開かれた議会にすることが議長としての私の責務と考えております。

皆様のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

副議長挨拶



第38代副議長
中村 功

議会と行政は、よく車の車輪とブレーキに例えられます。市民の幸福を追求することは同じでも、車輪が違う方向へ進もうとしたときはブレーキをかけて進むべき方向をたださなければなりません。感染禍にある現在、そして感染克服後には、提案権がより重要視されると思います。議会の責任がますます重大となっている中で副議長という重責を担うにあたり、皆さんの負託に応えられるよう誠心誠意努めてまいります。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

各委員会の新たな構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	委 員							定 数
	◎宮崎 光夫 板垣 功	○渡邊 喜夫 小坂 博司	比企 広正 小林 誠	湯浅佐太郎 阿部 聡	小柳はじめ 加藤 和雄			10人
常任委員会	委員会名	委 員						定 数
	総務	◎小林 誠 板垣 功	○青木三枝子 小坂 博司	宮崎 光夫 中村 功	小川 徹 加藤 和雄	小柳はじめ		9人
	社会文教	◎阿部 聡 三母 高志	○渡邊 葉子 佐藤 真澄	比企 広正 石山 洋子	若月 学	板倉 久徳		8人
経済建設	◎中野 廣衛 入倉 直作	○五十嵐良一 宮村 幸男	今田 修栄 渡邊 喜夫	湯浅佐太郎	水野 善栄		8人	

一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

【質問議員14人 質問32項目】

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 中学校の部活動改革について

Q2 コロナ禍での今後の芸術文化の発展に向けて

▶ 板倉久徳 議員

- Q 文科省は休日部活動の地域移行の方針を示しているが市の対応は。
- A 今年度中に移行計画をまとめ、来年度からモデルを指定し移行準備を進める。
- Q 休日部活動の地域移行に向けた協力体制の準備はできているか。
- A 地域部活動設置連絡協議会を立ち上げ、協力団体と連携し準備を進める。

- Q コロナ禍で活動が思うようにできない市民や団体に対する支援は。
- A 県や市の助成等を紹介するなど支援したい。
- Q アフターコロナの市の芸術文化発展に向けた今後の計画は。
- A 市民文化会館のオンライン配信設備整備など芸術文化振興を図る。



Q1 濯纓亭(たくえいてい)の早期復元と利活用について

Q2 新発田城お堀の水質改善について

▶ 水野善栄 議員

- Q 昔、東公園に移築されていた大倉喜八郎翁寄贈の濯纓亭(東屋)は、現在、解体保存されているが、その保存状況と早期復元の可能性は。
- A 部材の腐食もあるが礎石や屋根部材などは保存されている。蔵春閣(ぞうしゅんかく)移築で機運の高揚は承知しており、移築後に検討を進めたい。

- Q お堀の水質悪化が問題視されているが、流入水源の確保や水生植物の植栽推進についての考えは。
- A 新井田(にいだ)川からの取水を継続し水質を安定させ、松本城お堀使用の水質安定剤も研究する。水生植物についても専門家に相談していく。





Q1 「労働者協同組合」の法制化の対応について
Q2 アスパラガスの生産振興と課題について



▶ 渡邊 喜夫 議員

- Q** 労働者が資金を出し合い経営に携わる協同労働を行う団体に法人格を認めた。最低賃金の保障など労働法規が適用され、移住やワーケーションの促進となる。市の対応は？
- A** 地域づくり支援センターを通じNPO法人等への情報提供、相談対応、支援体制を構築していきたい。

- Q** アスパラガスは市の園芸振興のトップランナーだが栽培面積、販売額が右肩下がり。振興策は？
- A** 県やJA等関係団体と一丸となって総合的な支援体制を整え反転攻勢をかけていく。
※ 他に水道スマートメーターの導入について質問した。



Q1 ワクチン接種に依存せず、徹底した感染防止策と自宅療養者増加を見越した体制づくりを



▶ 青木三枝子 議員

- Q** 念願の亚克力板が設置されたが使用されていない。市長、副市長が昼食時に使用し問題点など指摘して頂けないか。
- A** 副市長と共に昼食をとってみたい。
- Q** 庁舎内のトイレの便座消毒機器を設置して頂けないか。
- A** これまでも要望されてきたことでもあり期待に沿える答えを用意している。

- Q** 学校の運動時以外でのマスク着用の徹底を。
- A** 日頃もそのように指導しているが今後も徹底させたい。
- Q** 医師会や訪問看護を含めた協力体制づくりを。
- A** ワクチン接種に関しては議論している。



Q1 新型コロナウイルス感染症対応について
Q2 発達障害児等への対応について



▶ 渡邊 葉子 議員

- Q** ワクチン接種後の副反応等を含む情報の周知は。
- A** 接種券に説明書を同封し必要な情報を告知、ホームページや担当課への問い合わせ等でも対応していく。
- Q** 中小企業や個人事業への影響はどうか。
- A** 甚大な影響を受け危機的状況にある。支援実施の準備を進めている。

- Q** 発達障害児や並外れた才能を持つ子どもたちへの①ソーシャルスキルの導入、②専門知識や理解を深める機会・研修等の実施はあるか。
- A** ①市内全小中学校で実施している。②教員や介助員を対象として7月に研修を実施予定。





Q1 気候変動対策について



▶ 三母 高志 議員

- Q 新発田市の今後の気候変動対策について。
- A ゼロカーボン宣言後、CO₂排出抑制、啓発活動を更に進める。
- Q EV自動車購入への補助について。
- A 市公用車から導入をしたい。
- Q 気候市民会議の設置検討について。
- A 市環境審議会でも市民が議論する場を設けたい。

- Q 箱岩地区でのメガソーラー設置について。
- A 大手業者と交渉中であり前向きに検討する。
- Q 学校での環境教育で気候危機問題をどう教えるか。
- A 環境教育は大切だ。脱炭素社会に向け取り組んで行く。



Q1 犯罪被害者支援 !! 特化した条例制定を
Q2 生理の貧困について



▶ 石山 洋子 議員

- Q 新潟県犯罪被害者支援条例が制定された。連携し、当市も条例制定をしては。
- A 支援は重要である。必要性を調査、研究する。
- Q 犯罪被害者等見舞金に関する今後の取組は。
- A 重要な取組であり補助金の制度化の必要性を調査、研究する。



- Q 困窮世帯の女性を対象とした生理用品の無償配布について。
- A コロナ禍で経済困窮の実態が顕在化している。無償配布の支援策の指示をした。
- Q 生理用品の防災備蓄と備蓄品の無償配布について。
- A 計画的に購入予定。保管状態を踏まえ、無償配布も含め有効活用を検討する。



Q1 外国資本による土地買収問題について
Q2 市役所の機構改革について



▶ 板垣 功 議員

- Q 日本の不動産が外国資本に買収されていることが指摘されているが、本市での外国人、外国法人による、買収実態はあるのか。
- A 過去10年間の売却実績で、市有地の外国籍の方や外国法人への売却はない。なお、民間企業等の取引については把握をしていない。

- Q 本市もデジタル化への変革等で業務プロセスの見直しを推進することによる、スマート自治体への転換を図るべきと考えるが。
- A 「新発田市行政改革推進計画」等において掲げているとおり、自動化技術や人工知能を導入し業務の効率化を図っていく。





Q1 市長公約は守られているか？
Q2 ワクチン接種の為にタクシー券助成について



▶ 小林 誠 議員

- Q 0～2歳児の保育料無料化の進捗は。
- A 0～1歳は財政面で難しいと判断した。お詫びを申し上げる。2歳児については秋頃には示したい。
- Q 放課後児童クラブの無償化は。
- A 来年度から無償化を実施したい。
- Q 放課後子ども教室の全市的拡大は。
- A 全市では難しい。
- Q 社会的援助が必要な方に対し、接種へ行くことが可能か情報収集すべき。
- A 問題があれば市に連絡が入ることになっている。
- Q 高齢者世帯や障がいがある方に対し、ワクチン接種用のタクシー券発行を。
- A 考えていない。シャトルバス等に対応している。



Q1 学校の女子トイレ個室に生理用品設置を
Q2 公共施設のトイレの改善を



▶ 佐藤 真澄 議員

- Q 児童・生徒が安心して通学し健康で衛生的な生活を保障するため、学校の女子トイレ個室に返却不要の生理用品設置を。
- A 各学校で購入し保健室で必要な児童・生徒に配布。トイレに設置の考えはないが、今後適切に対応したい。
- Q 市民文化会館のトイレの洋式化は終了したが、水道蛇口の改善を。
- A 館内全ての水道を、蛇口に触れずに自動的に水が流れるようにする。
- Q 本庁舎トイレ個室に消毒液の設置を。
- A 個別トイレに便座を消毒する機器を早急に取り付けるよう担当課に指示をした。



Q1 「2050年カーボンニュートラル」について



▶ 小坂 博司 議員

- Q 2050年までの脱炭素社会をめざす「改正地球温暖化対策推進法」が成立した。市は今議会中に「CO₂実質ゼロ」を表明する。カーボンニュートラルには市民の理解と協力が大切だ。取組を伺う。
- A 環境イベントなどの温暖化防止啓発活動に加え、広報しばたやSNSなどを活用する。市民生活のあらゆる面で地球温暖化を意識した行動となるよう意識啓発に努める。
- Q 「市民ファンド」を立ち上げ、市長を中心に私達で電気を作っては如何か。
- A 市民の皆様の環境への意識は高いものがある。「市民ファンド」について研究してみたい。





Q1 地域限定5Gの導入を活性化の起爆剤に
Q2 官製談合多発であぶり出された変節と対応策



▶ 小柳はじめ 議員

- Q** 市役所に基地局を整備し市街地活性化の起爆剤にしてはどうか
- A** 通信事業者が順次整備するため現状では費用対効果の点で難しい
- Q** ITやゲーム・映像などクリエイティブ産業誘致につながるのでは
- A** 旧天王小学校に整備するサテライトオフィスでの活用は検討したい
- Q** 良い事業遂行を目指す職員が逆に罪に問われることが県内で頻発している
- A** 職員はルールに則り粛々と業務を遂行しており今後も徹底していく
- Q** 役所の極端に低い発注額が逆に地域経済を冷やしているのでは
- A** 公金を預かる身として最安値での発注は当然の責務だ



Q1 荒橋・天王・本田旧校舎を無料で使えないか
Q2 コロナ禍で国に要望を。飲食業者に支援を



▶ 宮村幸男 議員

- Q** 閉校となった3校の旧校舎の利活用方針はいつ明示されるのか。
- A** 条例・規則を改正した。
- Q** 住民の利用を無料でできないのか伺う。
- A** グラウンドは無料、体育館開放は使用料免除、開放以外の体育館利用及び教室は公益性が認められる場合減免。地元自治会等の活動での利用も同様。
- Q** 持続化給付金や家賃支援給付金の再支給を国に要求すべきでないか。
- A** 継続的支援を国に要望したい。
- Q** コロナ禍で経営難におそわれている市内飲食関連店に緊急支援できないか。
- A** 飲食事業者の現金給付策として家賃補助等の検討を指示した。



Q1 「コロナ封じ込め」を目標に、対策の強化を
Q2 障がいのある人が普通に働き選べる暮らしを



▶ 加藤和雄 議員

- Q** ワクチン接種会場に自力で行けない人への対応は。
- A** 必要な支援ができるよう各団体と連携していく。
- Q** 高齢者施設など、頻回検査や無症状者にモニタリング検査の社会的検査を実施すべき。
- A** モニタリング検査を実施していることから検査の拡充については現時点では考えていない。
- Q** コロナ禍で、障がい者の就労支援事業所の収入減が利用者の収入に影響を及ぼしている。利用者・事業者に対する支援は。
- A** 市として事業所の販売している商品等を積極的に利用することと、関係課の連携による事業の周知と利用の促進に努める。



研修の報告



農業の6次産業化に向け、 さつまいもでの実践例を紹介。

◎第4回議員政策勉強会

<4月22日(木)午後3時～・議場>
講師/小千谷市・農プロデュース Ritz
新谷梨恵子さん
演題/農家の嫁に憧れて小千谷に移住

B品を加工、 付加価値をつけて販売

東京から新潟の小千谷市のサラリーマン家庭に嫁ぎ、自らは農業生産法人に勤務後、(株)農プロデュースRitz(リッツ)として独立した。現在は役員・社員3人、パート・アルバイト9人、障がい者も2人雇用しているという。

さつまいもの栽培のみならず、さつまいもを使ったスイーツなどの加工品を開発し、付加価値を付け

て「さつまいも農カフェ きらら」などで販売している。

さらに、農家への人材派遣「アグリネット芋づる」の運営や、県の6次産業化プランナーとしての講演活動にも忙しい日々を送っている。

成功の秘訣は「自分を変える、今、この時」。とにかく、成功するまで諦めない熱意が必要だ。



議員政策勉強会

手に取られる、 読まれる議会広報誌を。

◎第1回広報小委員会 Web 視察

<5月19日(水)午後1時半～・応接室>
講師/あきる野市議会議員・子籠敏人さん
(ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表)
演題/広報改革から展開する議会改革

読むから見る、 そして知ってもらう

議会改革の先進地として注目を浴び続けている東京・あきる野市。東京郊外の住宅地だが、まだまだ畑も目につく自然豊かなまちだ。

とにかく市民の皆さんに議会活動にもっともっと興味を持ってもらおうと「議会改革」に着手、議会の駅前広報活動、委員会の原則公開、議場のデジタル化、広報広聴委員会の立ち上げ、そして最

も成功したのが「議会報」のリニューアルだ。見やすさ、親しみやすさを大切にして、何度もアンケートを繰り返し、その結果を誌面に反映している。

市民に積極的に登場してもらう、余白を生かした割付など、参考にしながら今回のリニューアルを行った。



Web 視察

議会からのお知らせ

9月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (提案理由説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	議会運営 委員会 (一般質問)	
	決算審査委員会 (財務課長説明)					
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会 (総務)	常任委員会 (社会文教)	常任委員会 (経済建設)	議会運営 委員会		
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 (一般議案等採決)	決算審査委員会 (総務関係)	決算審査委員会 (社会文教関係)		
26	27	28	29	30	10/1	2
	決算審査委員会 (経済建設関係)	決算審査委員会 (市長総括質疑)		議会運営 委員会		
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (一般会計決算 議案等採決)					

※請願・陳情の提出期限は8月31日です。
※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。

本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継します。

①FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



③インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

会派別議員名簿

政策や考え方を同じくする議員が集まって会派を構成しています。
(令和3年5月21日現在)

◎会長 ○副会長

会派名	議 員	人 数
令和会	◎比企 広正 ○今田 修栄 宮崎 光夫 小川 徹 若月 学 湯浅佐太郎 小柳はじめ 板垣 功 水野 善栄 五十嵐良一 板倉 久徳	11人
共道しばた	◎小坂 博司 ○小林 誠 入倉 直作 三母 高志	4人
つなぐ会	◎阿部 聡 ○中野 廣衛 中村 功 渡邊 葉子	4人
日本共産党	◎加藤 和雄 ○宮村 幸男 佐藤 真澄	3人
公明党	◎渡邊 喜夫 ○石山 洋子	2人

※青木三枝子議員は会派に属していません。

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰された議員を紹介します。

中村 功 議員 (議員在職 30年)

今田 修栄 議員 (議員在職 10年)

小坂 博司 議員 (議員在職 10年)

湯浅佐太郎 議員 (議員在職 10年)

若月 学 議員 (議員在職 10年)

小柳はじめ 議員 (議員在職 10年)

SHIBATA TOPICS



キラキラ輝く若いちから☆



番組や動画、メディア制作を通じて地元貢献！



もっともっと
地元を知りたい、伝えたい。
敬和学園大学3年・岸田瑠々さん



表紙写真 |

敬和学園大学・一戸信哉ゼミ



実際に作品を作りながら、高度な技術を習得

ゼミでは班ごとにテーマを設け、実際に映像作品を作りながらメディアの制作技術を学んでいる。今年のテーマは「蒸気船による河運」「満州柏崎村」「新川」など。技術的指導は極めて具体的だ。

映像だけでなくFMしばたで毎週金曜夜9時に放送している『敬和キャンパスレポ』も作っている。6月8日はゼミ卒業生で4年間UXのアナウンサーとして活躍した高井瑛子さんを招いて取材のコツを聞いた。取材先として「シンガポール食堂のオッチャホイのルーツを調べたい」と目を輝かせていたのは岸田瑠々さん。また、山田夏実さんは「基本的にパソコン1台あれば編集できる」と語った。デジタル化に舵を切った新発田市議会も負けていけない。

表紙／左から、金安優希さん（2年）、高井瑛子さん（敬和学園大学卒業生）、岸田瑠々さん（3年） 裏表紙／①座学。パソコン・スマホ・資料本が3種の神器 ②「誰に聞けばいいですか」「古いことは神社が宝の山」と逆取材 ③「技術はもちろん、取材の準備過程および現場で社会性を身に付けることも教育の柱です」（一戸信哉教授）

編集後記

市議会だよりが変わりました。否！変えました。若月学元委員長、小柳はじめ前委員長の2代の議会運営委員会の議論を通して、論客かつフットワークのよいメンバーからなる「広報小委員会」を設置し、市民の皆様手に取っていただける、読んでいただける市議会だよりづくりを模索し、ようやく送り出すことができました。

「新発田市の課題とその解決」や「今、輝いているまちの人」など、様々な視点から工夫を凝らした誌面を目指します。

また、今後、市民の皆様から「広報誌」のネーミングも募集いたします。ふるってご応募願います。

（文責・宮崎光夫）

【編集委員】委員長／宮崎光夫 委員／小柳はじめ・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子